

映画上映 SAYAMA

:みえない手錠をはずすまで

<上映日時・場所>

◆2014年11月10日(月)

①10時35分～12時40分

場所／神戸三田キャンパス II号館102号教室

◆2014年11月11日(火)

②11時10分～13時10分

③13時30分～15時30分

場所／西宮上ヶ原キャンパス

関西学院会館「風の間」

◆2014年11月12日(水)

④10時35分～12時40分

場所／西宮聖和キャンパス 6号館611教室

◆2014年11月13日(木)

⑤10時35分～12時40分

⑥15時10分～16時40分

場所／西宮聖和キャンパス 6号館631教室

(上記④、⑤で2時間目に離席した人のために、上映15分経過後から放映する。)

<パネル展示>

期間：2014年11月4日(火)～14日(金)

展示会場／①西宮上ヶ原キャンパス 図書館エントランスホール

②西宮聖和キャンパス

メアリー・イザベラ・ランパスチャペルの入り口

展示内容／●「さやま事件」とは (パネル30枚)

■上映内容

どんなに大きな苦難を背負っていても“生きることは美しい”—石川一雄さんと早智子さんとの出会いはそう思わせてくれるものだった。1963年5月1日埼玉県狭山市でおこった女子高校生殺害事件、いわゆる“狭山事件”。犯人にでっちあげられたのは被差別部落に住む石川一雄さんだった。獄中32年、仮出獄から19年。事件から半世紀「殺人犯」というレッテルを背負い続けながら、石川さんは今もなお「私は無実です」と訴え続ける。

映画はそんな石川さんと連れ合いの早智子さんに3年間寄り添った。「不運だったけど不幸ではない!」というふたり。「冤罪」という強いられた人生を受け止めまっすぐ歩む、その何気ない日常のなかからあぶりだされたものは普遍的なメッセージだった。

「幸せとは」「愛とは」「友情とは」そして「正義とは」……映画は問いかける。

監督 金 聖雄

